

世界防災フォーラム 2025 において FUKUSHIMA サイエンスパーク構想のセッションを開催、「BOSAI 人材育成」プログラムの取組を紹介しました（2025/3/8）

テーマ：福島県浜通り復興支援，人材育成，イノベーション

会場：仙台国際センター（仙台市）会議棟3階一会議室「白檀」

URL：https://worldbosaiforum.com/2025/news/sessions_detail---id-653.html

2025（令和7）年3月8日（土），仙台市国際センターで開催された世界防災フォーラム 2025 において、「FUKUSHIMA サイエンスパーク構想」（注）についてのセッション（主催：東北大学グリーン未来創造機構）が開催され，災害科学国際研究所から，今村文彦教授（津波工学研究分野）と齋藤玲助教（認知科学研究分野／情報科学研究科）が活動の報告をしました。

今回のセッションでは，グリーン未来創造機構長の湯上浩雄教授（副学長／工学研究科）による本活動の趣旨を説明したビデオメッセージから始まり，続いて同副機構長でもある今村教授が「FUKUSHIMA サイエンスパーク構想」についての説明を行った後に司会・進行を務めて，5名が話題提供を行いました。

最初の「BOSAI 人材育成」プログラムについては，齋藤助教が「温故知新」や「総合知」といったキーワードで示されるコンセプトや，また昨年浪江町で開催されたキックオフミーティングでのワークショップでの議論を踏まえ，その後検討されている人材育成メニューの紹介等を行いました。なお，このプログラムには当研究所より御手洗潤教授（防災社会推進分野／大学院法学研究科），柴山明寛准教授（災害文化アーカイブ分野），鎌田健一特任教授（地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門）が運営に参画しています。

その後，浜通りの自治体との連携協定やそれに関連する取り組みの紹介，F-REI（福島国際研究教育機構）との連携による農業分野の研究・活動，公共政策大学院の学生による南相馬市小高区をフィールドとした政策提言型ワークショップの活動や，学生ボランティアサークル「福興 YOUTH」の活動紹介がなされました。

当日は朝早くからのセッションにも関わらず，多くの聴講者が訪れ，FUKUSHIMA サイエンスパーク構想における浜通りをフィールドにした数々の復興に向けた取り組みとして注目されていました。

また，この BOSAI 人材育成プログラムについては，当研究所の多くの教職員が関わり，今回のセッションの準備にも関わっており，2026 年度からの本格実施に向けて，2025 年度も現地でワークショップの開催など，積極的に推進していく予定です。

注：東北大学では，社会共創事業を福島県浜通り地域にも展開するために「FUKUSHIMA サイエンスパーク構想」を推進しており，その一環として世界へ発信する「BOSAI 人材育成」に取り組んでいます。ここでは，東日本大震災の教訓や災害対応を学び，「想定外」を無くし「犠牲者ゼロ」を実現するために，既存の防災・減災の知識と最先端の【総合知】を合わせ持ち，将来の社会変化にも柔軟に対応できる人材育成を目指しています。

（次頁へつづく）

今回のセッションの概要と話題提供者は次の通りです。

■ ビデオメッセージ：

湯上 浩雄 副学長・グリーン未来創造機構長（工学研究科）

■ FUKUSHIMA サイエンスパークについて：

今村 文彦 副理事・グリーン未来創造機構副機構長（津波工学研究分野）

■ 話題提供

- ・ 齋藤 玲 助教（認知科学研究分野／情報科学研究科）
BOSAI 人材育成プログラムについて
- ・ 小野寺 秀明 特任教授（グリーン未来創造機構）
福島浜通りでの取り組み
- ・ 大谷 隆二 教授（農学研究科）
F-REI との連携（主として農業分野）
- ・ 小原 倫太郎 氏（公共政策大学院）
公共政策ワークショップ（南相馬市小高区をフィールドとして）について
- ・ 内山 巧稀 氏（学生ボランティア・福興 YOUTH）
福興 YOUTH の活動内容について



BOSAI 人材育成プログラムの説明を行う齋藤助教



登壇者の記念撮影

文責：鎌田健一（地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門）